

SHIRAKOBATO

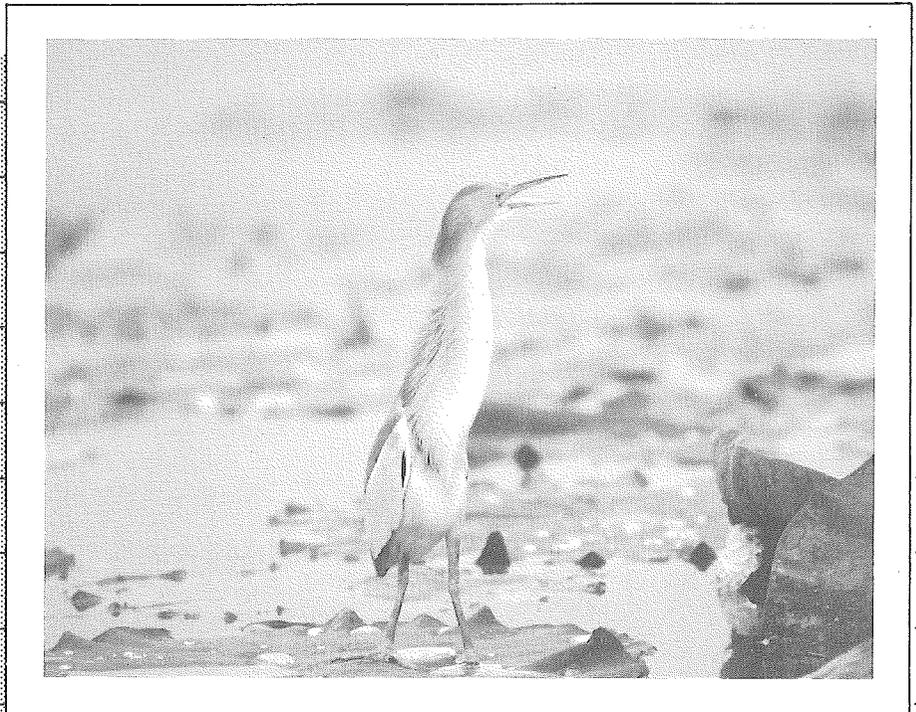
# しらこぼと



1995. S

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 136

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 埼玉県支部についてのQ & A

## 第2回

支部の歴史についてお答えした前回に引き続き、ちょうど総会の報告とも重なりますので、今回は、支部がどのように動いているのか、組織とか会議とかについてのご質問にお答えします。

埼玉県支部は、どのような組織で運営されているのですか

右ページの組織図をご覧ください。総務・普及・事業・編集・研究の各部がそれぞれ仕事を分担しています。それに加えて事務局や野鳥記録委員会があります。

各部には、役員たちがそれぞれ所属していますが、たとえば普及部に所属する探鳥会リーダーたちのように、役員でなくても、各部に所属して活動することができます。

各部の部長は、役員の中から互選されますが、現在事業部長が空席になっています。草間和子前事業部長が病気療養のために退任した後、後任がまだ決まっていないのです。そのこととともに、海老原の役職が多過ぎることも問題点として指摘されますし、正直に言えば、現在埼玉県支部は万全の態勢にあるとは言いがたいのですが、みんなの力を合わせ、何とか前進し続けているわけです。

各部は、それぞれどのように活動しているのですか

普及部は、偶数月の第1土曜日に定期的に会議を開いて、探鳥会などの普及活動を立案し、それぞれの活動の問題点を話し合い、改善を図ったりしています。

編集部は、本年6月号「連絡帳」欄にも掲



載したとおり、毎月最終土曜日の2週間前の土曜日に会議を開いて『しらこぼと』の編集作業、企画の話し合いをしています。

総務部はほかの部に属さないことや対外的なことを担当、事業部は探鳥会などでの販売活動を通じて支部の財源確保に努力し、研究部はシギ・チ調査やガンカモ調査、タカの渡り調査、野鳥生息環境モニタリング調査などを実施、野鳥記録委員会は県内野鳥チェックリストの作成を担当して、それぞれ必要に応じて会議を開いています。

保護部がないのは、なぜですか

埼玉県支部が自然保護活動として最も重点を置いているのは、「探鳥会などを通じて、自然保護に関する基本的な認識を社会全般に浸透させ、各地で展開される保護活動が実を結ぶような土壌を養うこと」です。

埼玉県内でも、いくつもの団体がそれぞれの自然保護活動を展開しています。その中で私たちが果たすべき役割として最も求められており、かつできることで効果的なのはどうか、いろいろ考えた結果です。つまり、各部の活動のトータルが、即私たちの自然保護活動であるという考えですので、現在特に保護部は設けていないわけです。

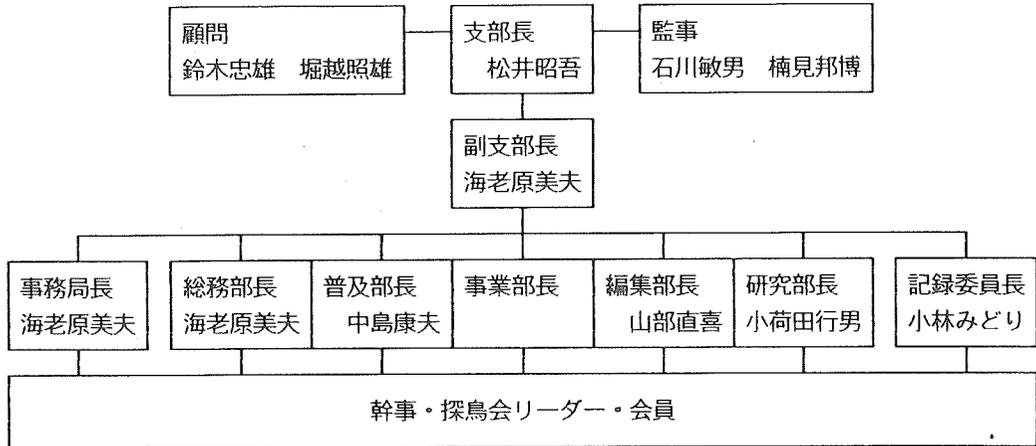
密猟監視などは、県鳥獣保護員である福井恒人幹事が担当しています。

役員会というのは、どのように開かれているのですか

毎月1回と、総会のときに支部長・副支部長・監事を選出するために開く1回、合わせて年間13回開催しています。

通常は三室地区の定例探鳥会が開かれる毎月第3日曜日の午後に、支部事務局で開かれ

日本野鳥の会埼玉県支部組織図（平成7年7月1日現在）



ることが多いのですが、行事予定などを勘案して、そのつど次回の役員会の日時や場所を決めています。

役員会も形式的なものにならないように、役員たちが交代で書記や司会者をつとめるなどの工夫をしています。常に役員会議の前には、30分位の各部の会議ができる時間を設定されていて、役員会議に入るとまず各部からの報告があり、その中で議案も提出されて、支部の活動に関するあらゆることについて話し合い、決めていきます。普及部会議で検討された行事予定案なども討議したうえで承認します。

会議の内容が出席できなかった役員にも伝わる様に、毎回役員会報告を作成して、全役員に送ります。

総会では、どのようなことが話し合われているのですか

支部規約第18条で、総会では、次の事項を議決すると決められています。

- 1, 規約の変更
- 2, 役員を選任および解任
- 3, 事業計画・事業報告・予算・決算の承認
- 4, その他支部の運営上特に必要な事項

すなわち、支部の運営に関するもっとも重要なことは、総会で決まるということです。実は、全国の支部の中には、いろいろな理由

から毎年総会を開かない支部もあるのですが、埼玉県支部は、「会員たちの総意で動く」という創立当初からの方針を続けています。

本部と支部との一体感を重視するために、毎回本部からゲストを招き、記念講演も合わせて開催しています。

通常事務局が議案の内容を説明し、質疑応答の後に採決するという形ですが、会場の設備によっては、スライド映写やビデオ映像を事業報告に加えたりもしています。

役員になるのは、どういう人ですか  
どういう手続きで選ばれるのですか

総会で選出されるわけですから、そこで立候補して、選出されれば役員になるわけですが、なかなかその場で立候補はできないものです。通常事前に役員会議で相談して、ご本人の内諾をいただき、役員会からの推薦候補者として名簿を提出し、承認を得ています。

支部はすべてボランティアで運営されていますから、会員の皆さんにいろいろ協力していただかなければ何事も進みません。役員は役員会に出席して活動方針などについて討議し、各部の中心になって活動し、探鳥会の世話役をつとめるなどの仕事があります。こういう仕事を手伝ってくださる新しい人材を、日ごろから探しています。

（文責・海老原美夫）

# 総 会 報 告

6月25日(日)浦和市内埼玉会館で、町田好一郎幹事の司会により開始、議長として工藤洋三幹事、書記吉原俊雄幹事、議事録署名人楠見邦博幹事と佐久間博文幹事が選出されて、平成6年度事業報告と平成7年度事業計画案、平成6年度決算と平成7年度予算案が承認され、平成7年度役員が選出されました。総会を一時中断した役員会議では、支部長・副支部長・監事の体制に変更がないことを確認して、再開した総会で報告されました。

総会終了後、本部普及部環境教育コーディネーター安西英明氏の「探鳥会は地球を救う第1歩」と題する講演会が開かれました。

日本野鳥の会創立60周年記念感謝状が総会の席上渡される予定でしたが、鈴木忠雄前支部長がやむを得ない所用で出席できず、当日の午前中、支部事務局で手渡されました。

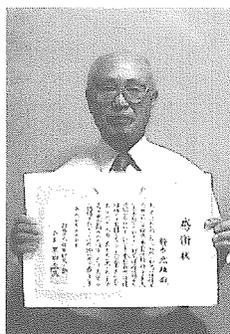
## 平成6年度決算・7年度予算

### [収入の部]

| 項 目     | 6年度決算      | 7年度予算      |
|---------|------------|------------|
| 期首繰越金   | 4,625,442  | 5,505,906  |
| 会費収入    | 3,733,350  | 3,800,000  |
| 寄付金収入   | 133,382    | 100,000    |
| 探鳥会等参加費 | 260,596    | 260,000    |
| 雑収入     | 194,358    | 100,000    |
| 原稿料収入   | 800,000    | 0          |
| 補助金     | 400,000    | 400,000    |
| 総務扱販売収入 | 90,140     | 0          |
| 事業部売上金額 | 1,740,629  | 1,700,000  |
| 事業部雑収入  | 4,003      | 0          |
| 合 計     | 11,981,900 | 11,865,906 |

### [支出の部]

| 項 目    | 6年度決算     | 7年度予算     |
|--------|-----------|-----------|
| 什器備品費  | 292,804   | 500,000   |
| 消耗品費   | 30,223    | 50,000    |
| 支部報印刷費 | 941,698   | 1,500,000 |
| 支部報送料  | 1,324,680 | 1,600,000 |
| 印刷コピー代 | 308,990   | 350,000   |
| 通信費    | 204,095   | 250,000   |
| 雑費     | 249,692   | 300,000   |
| 家賃     | 1,018,000 | 960,0000  |



鈴木忠雄前支部長



安西英明氏

|        |            |            |
|--------|------------|------------|
| 水道光熱費  | 60,126     | 65,000     |
| 総務部費用  | 125,370    | 150,000    |
| 普及部費用  | 150,000    | 160,000    |
| 編集部費用  | 40,000     | 50,000     |
| 研究部費用  | 0          | 30,000     |
| 事業部費用  | 3,533      | 10,000     |
| 仮払金清算  | 1,294      | 0          |
| 総務扱仕入額 | 810,000    | 0          |
| 事業部仕入額 | 915,489    | 1,000,000  |
| 予備費    | 0          | 600,000    |
| 期末繰越金  | 5,505,906  | 4,290,906  |
| 合 計    | 11,981,900 | 11,865,906 |

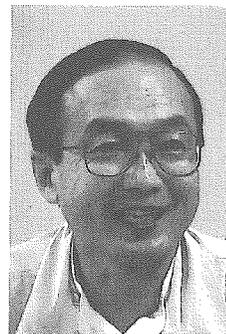
## 平成7年度役員

新たに新堂克浩氏(浦和市)と吉安一彦氏(春日部市)の2名が選出され、しばらく休んでいた乗田実幹事が復帰しました。

草間和子氏と立岩恒久氏は退任。長い間支部のためにご尽力をいただき、本当にありがとうございました。



新堂克浩新幹事



吉安一彦新幹事

戸隠・飯綱高原探鳥会

新井 巖 (深谷市)

入会して2年余、さすがに近場だけでは種類が増えなくなってきた。150種目前で足踏み。予約というのはどうもプレッシャーに感じてしまうタチなのだが、ここは発奮しての一泊探鳥会初参加であった。

リーダーが「天気が良いすぎて鳥が出てくれないのでは」と心配する程の好天の中、飯綱高原を歩き始める。落葉松の新緑が眩しく、アカゲラの赤、キビタキの黄色がひときわ鮮やかに見える。。台座法師池のノゾコで149種といよいよリーチ、明日が楽しみだ。

夜は案内どおり蕎麦と地酒と野鳥のビデオを堪能する。ちょっと堪能しすぎたかも。

3時に起きるなどという健康的(かな?)な生活はついぞしたことがないので、翌朝はキツイ。真っ暗な中を越水が原へ。もうホトトギス、カッコウが鳴いている。気温は何と0℃。オオジシギはやや迫力不足だったが、姿を見た人もいてまず上首尾。

戸隠森林植物園に入りほどなく、期待通りサンショウクイでめでたく150種。“朝飯前”の達成。続いてコルリも、さえずる姿をじっくり見せてくれて151種。

ニリンソウの絨毯、水芭蕉の群落、リュウキンカ、カタクリ・・・花々が見事に咲き誇って美しい。皆さん植物にも詳しいのに感心する。私は鳥だけで手こずっているのに。

クロジのさえずる姿もしっかりキャッチ、「探鳥はやはり朝なんだ」と夜更し朝寝坊の我が身を反省する。

朝食後再び森林植物園を歩く。先週リー



ダーが出会ったという随神門のフクロウは見つけられなかったが、戸隠牧場への道で、期待薄と思われたオオルリが出現、「さあ見ろ」とばかりの大サービスに全員満足して帰りのバスに乗り込んだ。

さすがに疲れたが、「秋はムギマキだな」と、次回も来ることに決めている自分に気づく。

先輩諸氏もこうやって深みにはまりこんでいったのだろうか。

以上、報告します

飛田 茂 (妻沼町)

入会して4年足らず、『フィールドガイド日本の野鳥』や『気ままにバードウォッチング』を片手に家や会社の周辺に飛び回っている鳥達の名前がやっとわかるようになってきました。探鳥会へは、大体一人で参加(時々カミさんも)ですが、私に限って言えば、『しらこぼと』7月号の連絡帳に載っていた不親切云々という体験はありません。

さて、初めての野鳥情報を送ります。会社裏にある別府沼に今まで見たことのない鳥が2羽いましたので、『気ままに...』で調べたところ大麻生でも見られるコアジサシと判明しました。更に、去年迄は2羽いたバンが、今年は1羽しか確認できませんでした。カルガモは今年も無事子育てに成功し、元気に別府沼にダイビングしております。いずれも、6月24日に確認しました。以上、報告します。

前略

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

この間ツミを見たので、お知らせしようと思いましたが、6月3日、富士見市の富士見江川、鶴馬橋の下流側にある小さな森に、ツミの早う羽がいました。木のそばの畑にいたらしい3羽のカラスと違い、森の中にいました。

富士見江川沿いに歩いていると、「ヒューヒュー」という音が聞こえ、何だろうと思っていた所でした。パツという羽音が聞こえ、振り向くとカラスが3羽、すごい勢いで飛んで来たので驚きました。近くまで来てツミはリターンし、森の中に入りました。少ししてまた「ヒューヒュー」という音が聞こえてきました。

初めて見たので、とてもうれしかったです。



(入沢直子)

# 浮島情報

- カイツブリ ◇5月28日、吉見町の八丁湖で浮き巣で抱卵中の親鳥を見かける。近くには、これを見張る親鳥。湖面にはかなりの数のカイツブリがいるが、今年は例年に比べて浮き巣が少ないようだ(栗原省二)。
- ハジロカイツブリ 5月6日、戸田市道満荒川第一調節池で夏羽3羽(高橋達也)。
- アカエリカイツブリ ◇5月5日、戸田市道満荒川第一調節池で夏羽1羽(高橋達也)。
- サギ(コロニー) ◇越谷市相模町6丁目の竹林でゴイサギ、アマサギ、コサギ、チュウサギの生れたばかりのヒナや若鳥合せて数百羽(6月2日付埼玉新聞)。
- ゴイサギ ◇5月28日、吉見町の八丁湖で水中から出た木の古株に6羽。湖面をじっと見つめて小魚を狙う(栗原省二)。
- ササゴイ ◇5月22日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。
- マガモ ◇5月6日、大宮市昭和地区でカルガモ12羽の群れ中に♂♀各1羽(中司隆由)。
- カルガモ ◇5月30日、吹上町北新宿地内の元荒川で例年のようにヒナ7羽を連れた親子連れ(栗原省二)。◇6月15日、川越市の新河岸川旭橋付近で親鳥1羽、ヒナ5羽(藤掛美紀)。
- ツミ ◇5月17日、大宮市日進1丁目で2羽巣材を集めていた。18日、巣を作っている



(アオバズク 水内 誠)

- 場所を確認。クヌギの太くてほぼ水平な枝の上で、下から見ると途中に枝がないので丸見え。巣を隠すのは太い枝のみ。巣材の量は少なく、完成までにはまだ日時を要するものと思われる(森本國夫)。◇6月3日、毛呂山町で♀1羽。4月下旬より観察中の巣でヒナ誕生をこの日確認する。近くでもの呼ぶ声がすると♀が飛んで行って獲物を巣に持ち帰りヒナに給餌する行動が見られた(増尾節子)。
- オオバン ◇5月18日、戸田市道満荒川第一調節池で1羽(高橋達也)。
- ムナグロ ◇5月6日、荒川左岸浦和市塚本で4羽、荒川右岸大宮市塚本町で9羽(中司隆由)。
- ユリカモメ ◇5月6日、大宮市と富士見市境のびん沼川砂塚橋上空をすっかり黒くなった頭の夏羽1羽(中司隆由)。
- クロハラアジサシ ◇6月4日、戸田市の彩湖、浮島のある上空で3羽観察することができました(細井要)。・・・写真なし
- コアジサシ ◇5月28日、吉見町の八丁湖で1羽。時々急降下して水中にダイビング。小魚を捕らえていた(栗原省二)。
- カッコウ ◇5月20日、吹上町大芦砂原の堤防内より今年もさわやかな声(栗原省二)。◇6月2日、上尾市の上尾南高校屋上のテレビアンテナにとまり、さかんに鳴いていた(浅見徹)。◇6月5日、大宮市日進1丁目で鳴き声を聞く。今年は来るのが例年より遅かった(森本國夫)。◇6月8日、6月10日、6月15日、浦和市神明の自宅付近で鳴き声が聞こえた(上野明子)。◇6月8日、大宮市堀の内3丁目の自宅近くの旅館の杉の梢に飛来。2声鳴いて飛び去る(浅見徹)。
- ジュウイチ ◇6月5日、大滝村の大血川東大演習林内宿舎付近で1羽(田口浩司)。
- ◇6月5日、大滝村入川の養魚研究所付近で1羽(田口浩司)。
- ホトトギス ◇5月18日、春日部市小淵の自宅付近で夜中じゅう鳴いていた(入山博)。
- ◇5月21日、春日部市牛島の自宅付近で鳴く(門谷直樹)。◇5月30日、毛呂山町の

雑木林で1羽(増尾節子)。◇6月11日、大宮市の大宮第2公園の遊水池西の雑木林で1羽。すぐ近くで鳴いているのに、姿は見えぬ。その後、声は大和田緑地公園の方に移動した。当地に越してきて4年目。ホトトギスの声を聞いたのは初めてです(浅見徹)。

フクロウ ◇5月3日、大滝村の南天山で1羽(青山紘一)。

カワセミ ◇6月4日、浦和市秋ヶ瀬の野鳥の森で1羽(陶山和良)。

アオゲラ ◇6月5日～17日、入間市扇台の自宅前の原っぱの桐の大木に、ほとんど毎日、1日に何回も現れます。「キョキョキョキョ、ピョーッ、ピョーッ、タララララ」と忙しそうです。何で毎日現れるようになったのかよくわかりませんが、住み家が少なくなったのではと心配です(吉田郁子)。

コマドリ ◇6月12日午後12時40分、大宮市西新井の森でコマドリらしき声。探し回りますが、姿は見えぬ。13日午前5時、昨日の音が気になり、ビデオカメラを持って再度トライ。鳴き声は聞こえるが、なかなか姿は見えぬ。待つこと約1時間。やっと見つけた。地上の倒木に止まり、上を向いてさかんに「ヒンカラカラ・・・」我家のビデオはスナップ用。双眼鏡ではっきり見えているのに、ホンの一瞬チラリと動く物が写っただけでした。でも声はきれいに入っていました(浅見徹)。

コメボソムシクイ ◇5月28日、吹上町筑波町内の元荒川横、桜の梢で、枝移りしながら口を大きく開けて「ジュジュリ、ジュジュリ」とさかんにさえずっていました(逸見嶮)。



(ツミ 佐久間孝夫)

センダイムシクイ ◇5月5日、戸田市道満の釣り堀横の林で1羽(高橋達也)。

オオルリ ◇5月8日、戸田市の戸田公園で♀1羽(高橋達也)。

シジュウカラ ◇5月26日、三郷市のさつき小学校運動場で頬や胸に黄色味が残るヒナがうずくまっていた。木立のほうに移動させようとして持ち上げ、運ぶ途中で、自力で近くの体育小屋の上まで飛び、しきりに鳴いていた。三郷で初めての繁殖確認かもしれない(山部直喜)。

ツリスガラ ◇5月1日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で13羽(高橋達也)。

クロジ ◇5月6日、戸田市の戸田公園で♂♀各1羽(高橋達也)。

シメ ◇5月5日、狭山市赤坂の森で約20羽パチパチと木の実を食べていた(久保田忠資)。◇5月7日、狭山市の智光山公園で数羽(久保田忠資)。

コウライウグイス ◇6月4日、浦和市秋ヶ瀬の野鳥の森で1羽。飛んでいるのは2羽確認(陶山和良)。

表紙の写真

『気ままにバードウォッチング』掲載作品

ヨシゴイ(サギ科)

鬱陶しい雨もやんで、遠く青空ものぞく。懐かしいヤツにあったような感じだ。が、単なる中休みだという。あけきらぬ長い梅雨。

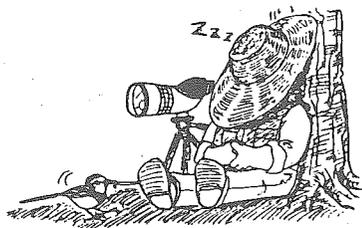
伊佐沼(川越市)に、古代蓮の花とヨシゴイを見ようと訪れる。

やがて、蒸し暑さにたまりかねたように、蓮の葉づたいに現れたヨシゴイ。

涼を求めるあまり、思わず開けた所に出てしまい、大いにとまどっているようです。

野川一臣(大宮市)

# 行事あんない



(渡辺 敦)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

## 北本市・石戸信定例探鳥会

期日：8月6日（日）

暑いときに汗をかくのはごく自然。詳しくは7月号にて案内をしています。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月13日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前  
交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居9:03発に乘車

担当：菱沼（一）、森本、小池、田口、斉藤、菱沼（洋）、中島（章）、石井（博）、和田

見どころ：暑い日が続く大麻生も夏本番ですが、吹き抜ける風に何となく秋の気配が感じられます。鳥たちもそんな気配を察してか落ちつきがありません。一年を通して最も鳥と参加者が少ないのですが、こんな時にかぎっていいことがあるかもしれません。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月20日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東口（集合後、バスで現地へ）または、午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺（周）、手塚、笠原、伊藤、若林、岡部、倉林、嶋田、兼元

見どころ：お盆が終わって、夕暮れには風が芝川のアシを揺り動かす。南へ帰るシ

ギ・チドリたちが干潟に姿を見せると反対に、早めのコガモが来たりする。しかし、日中は暑いだろうから、代用水の斜面林の木陰でお休みしながら、鳥談議もいいですネ。

## 千葉県・船橋海浜公園探鳥会

期日：8月20日（日）

集合：午前9時30分 JR総武線船橋駅改札口付近。集合後京成バス9:40発にて現地へ

交通：JR武蔵野線南浦和8:30発→西船橋乗換→船橋下車

担当：佐久間、工藤、篠原（東）、青山、藤原（佳、旧姓黒田）

見どころ：近くで見られるシギ、チドリのなかま、コアジサシなど種数の多い時季です。子育てをおえて船橋の三番頼でゆっくり羽を休めています。西防波堤付近で観察します。暑い最中、日陰がありませんので帽子と冷たい飲物をお忘れなく。

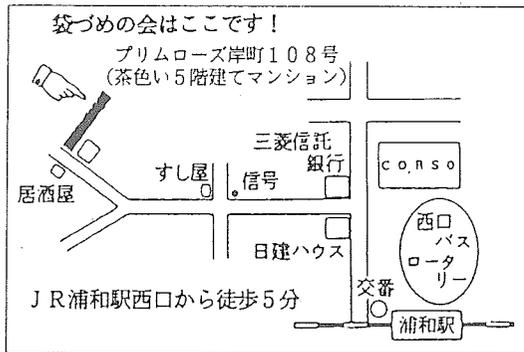


### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月26日（土）午後1時～2時ごろ  
会場：支部事務局 108号室  
案内：暑さも峠をこえたけど夏の疲れが残っている。そんなこといわないで元気に行きましょう。鳥の季節も間近です。鳥情報の入手も兼ねてお手伝いに協力たのみます。

### 野鳥写真クラブ定例会

とき：8月26日（土）2時ごろ～5時  
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ  
今年の夏の成果を是非おひろめください。海外バードウォッチングにでかけた方々、日本では絶対見られない鳥を紹介してください。



### リーダー研修会

期日：8月27日（日） 午前9時～午後5時  
会場：北本市文化センター（中央公民館）  
JR高崎線北本駅西口下車、徒歩約10分。大通りを真直ぐ進み、二つ目の信号左折約100m。会場 TEL 0485-91-7321  
申し込み：支部事務局または中島普及部長（TEL 〇〇〇〇）まで  
案内：埼玉県支部の会員は2670人位、大きく成長してきました。一方リーダーは現在100人程ですが、まだ足りません。そこで今年もリーダーを募集という訳です。リーダーになる為の特別な資格などありません。支部会員であることと、鳥や自然を愛し、会へちょっぴり情熱が向けられる。それだけで充分！



チュウサギ（中田 寛）

### 千葉県 谷津干潟探鳥会

期日：9月2日（土）  
集合：午前9時10分 JR京葉線南船橋駅前  
交通：JR武蔵野線武蔵浦和8:11発→南浦和8:14発→南越谷8:26発→南船橋（終点）  
担当：杉本、篠原（東）、中村（治）  
見どころ：9月のこえはきいたけど、まだどこへ行っても鳥の少ない時季です。でも干潟はシギ・チドリの日省ラッシュをむかえています。埼玉では見る機会の少ない鳥たちを是非見にきてください。

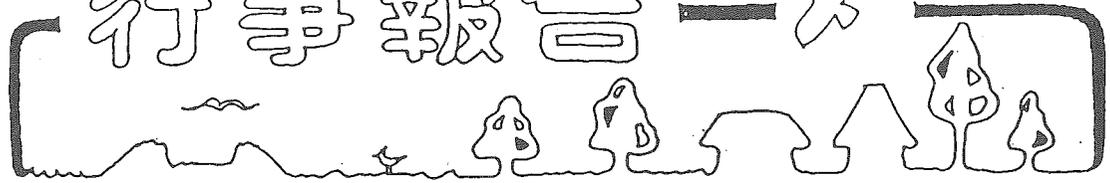
### 本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：9月3日（日）  
集合：午前8時50分 JR高崎線本庄駅北口。  
集合後、十王バス8:55発新伊勢崎行に乘車、阪東大橋南詰下車  
担当：町田、小池、林（滋）、中島（章）、石井（博）、和田  
見どころ：春のシギ・チドリはいまいちでしたが、秋のリターンに期待しています。アマツバメ、イワツバメ、ショウドウツバメの競演、少し気の早いノビタキ君に出会えればご機嫌です。アオアシシギのBGMをバックにヘルシーな一時を利根川ですごしてみませんか。ちょっぴり穂を出し始めたすすきと青空に舞うアカトンボ、初秋の河原ですがまだ暑い。防暑対策お忘れなく。

9月10日（日）熊谷市大麻生探鳥会

9月10日（日）坂戸市高麗川探鳥会

# 行事報告



12月23日(金、休) 年末講演会

参加: 82人 講師: 加藤幸子

第1部: VTR大会ということで、各人自慢の作品を放映しました。

第2部: 直木賞作家である加藤先生の講演は、昆虫少女時代の話から、大井野鳥公園奮闘記まで1時間30分にわたり、皆さん熱心に聞き入っていました。印象に残ったのは、生き物はそれぞれが自分の文化を持っているという言葉でした。講演会終了後は、会場を移し、加藤先生を囲んで楽しいパーティーが開かれました。(中島康夫)

4月2日(日) 北本市 石戸宿

参加: 79人 天気: 晴時々曇

カイツブリ カワウ マガモ コガモ トビ オオタカ ハイタカ ノスリ サシバ コジュケイ キジバン セグロカモメ キジバト アオゲラ アカゲラ オオアカゲラ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ マヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(43種) お花見気分ですと始まったが……。次々と出現するキツツキ類、ワシ・タカ類、美しい小鳥たちに大感激の連続。(彼らとのこんな素敵な出会いをセットしてくれた神様に心から感謝します。)のぞいたレンズの中にカラスとオオタカが。「まだまだいるぞ、ハイタカ3羽。」参加者のこんな光景をあなたは想像できますか。(岡安征也)

4月16日(日) 浦和市 三室地区

参加: 79人 天気: 晴

カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ キジバン コチドリ ケリ イソシギ タシギ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ オオ

ジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(31種) 春は花、花は桜といって、桜を見ながらの探鳥会は楽しいもの。三室の探鳥会は第3日曜日で、毎年桜の花が散った後となっていたが、今年は桜、桜。参加者も多くて賑やかで、長い間キジがきれいな姿を見せて全員を楽しませた。終わりにケリも初出現して、一段と花を添えた。(楠見邦博)

4月29日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 16人

赤塚義正、阿部やす子、荒木恒夫、石井幸男、岩上照代、海老原教子、海老原美夫、江波 功、尾崎甲四郎、角田真喜子、門谷直樹、倉林宗太郎、佐久間博文、藤野富代、松元達夫、安原久子

4月30日(日) 春日部市 内牧公園

参加: 14人 天気: 小雨後曇

カルガモ コジュケイ キジ ムナグロ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ オオルリ シジュウカラ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス(21種) 低木の茂みでモズ雌雄の動きが活発。斜面林の下ではツグミ、シメが盛んに採餌。樹上ではアオジが囀る。歩を進めると公園内の樹林から美しい声。葉間を飛ぶ1羽のオオルリと分り、皆その姿に釘付けとなる。代かきの始まった水田ではムナグロ。タヒバリも未だ残留。電線で盛んに囀るカワラヒワ。雨上がりの静かな新緑の下、身近に鳥たちを眺められ、少数ながら充実した探鳥会。(石川敏男)

5月5日(金、休) 千葉県習志野市谷津干潟

参加: 27人 天気: 曇

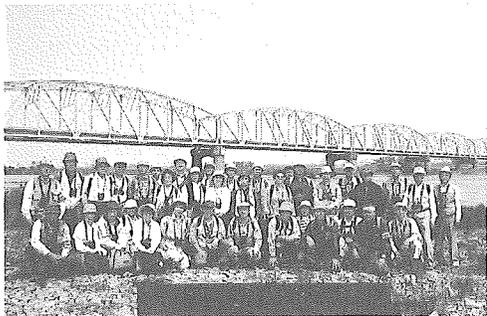
カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ スズガモ コチドリ シロチドリ メダイチドリ ダイゼン キョウジョシギ トウネン ハマシギ キアシシギ ソリハシシギ オ

オソリハシシギ ダイシャクシギ ホウロクシギ  
 ユリカモメ コアジサシ キジバト ヒバリ ツ  
 バメ ヒヨドリ ツグミ オオヨシキリ セッカ  
 メジロ アオジ カワラヒワ スズメ ムクドリ  
 ハシボソガラス ハシブトガラス (39種) 開始直  
 後に雨も上がって、干潟で休んでいるシギ・チド  
 リを観察。潮が引き始めると鳥がだんだんやって  
 きて、自然の舞台のショーを見ているようだった。  
 (杉本秀樹)

5月7日(日) 本庄市 阪東大橋

参加: 37人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサ  
 ギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ ヒド  
 リガモ トビ チョウゲンボウ キジ コチドリ  
 イカルチドリ シロチドリ ハマシギ キアシ  
 シギ イソシギ ツバメチドリ アジサシ コア  
 ジサシ キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ ハ  
 クセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨド  
 リ モズ オオヨシキリ セッカ ホオジロ カ  
 ワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ  
 ハシボソガラス ハシブトガラス (41種) まず  
 『しらこぼと』でお約束のとおり阪東大橋をバック  
 に全員で記念撮影。水辺で、コアジサシ、アジ  
 サシ、それにカモの残留組をじっくりとウォッチ  
 ング。お目当てのツバメチドリは前半組はばっち  
 り、後半組はシヨンボリだったが、中州の草の間  
 に隠れていたのを林リーダーが探してくれ、まず  
 はめでたしめでたし。記念写真(2Lサイズ)希  
 望の方は切手400円分同封の上、〒367本庄市日  
 の出4-9-17 町田好一郎まで。 (町田好一郎)



5月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 42人 天気: 曇

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ  
 オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジ

コチドリ イカルチドリ クサシギ キアシシギ  
 イソシギ コアジサシ キジバト カワセミ コ  
 ゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレ  
 イ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ  
 ウグイス オオヨシキリ セッカ ヤマガラ シ  
 ジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ム  
 クドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
 ラス (38種) 堤防を歩いていると、変な鳥との声。  
 キンバラであった。記録にはならないが、珍客で  
 盛り上がった。畑ではセグロセキレイの幼鳥が独  
 り立ちして餌を探している。野鳥の森ではムシク  
 イを期待したが見つからない。その代わりに、河原  
 ではセッカ、オオヨシキリ、コチドリ、コアジサ  
 シと大麻生の夏の主役たちがほぼ出そろい、あと  
 カッコウが来れば、夏ももうすぐ。(菱沼一充)

5月14日(日) 上尾市 丸山公園

参加: 35人 天気: 曇

カワウ コジュケイ キジ キジバト カッコウ  
 カワセミ コゲラ ツバメ セグロセキレイ ヒ  
 ヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ  
 シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ  
 ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
 ラス (22種) 新緑の中を気分の良いお散歩。初夏  
 のシンボルのカッコウも、姿も声も皆に確認され  
 大満足。カワセミは何回もアンコールに応じて熱  
 演。オオヨシキリも負けじと、あの真っ赤な口を  
 喉の奥までよく見せてくれた。(松井昭吾)

5月12~14日(金~日) 東京都 三宅島

荒天による船の欠航のため中止。

5月21日(日) 浦和市 三室地区

参加: 75人 天気: 曇

カイツブリ カルガモ コガモ コジュケイ キ  
 ジ バン コチドリ キアシシギ イソシギ キ  
 ジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ  
 ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオ  
 ヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カ  
 ワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソ  
 ガラス ハシブトガラス (28種) 新しい参加者が  
 多く、楽しい探鳥会が3月から続く。参加者数3  
 月70人、4月79人、5月75人で、やっぱり三室は  
 鳥見の始めの場所。今月はコチドリ、キアシシギ、  
 セッカ、オオヨシキリが出現して、やがて見沼た  
 んぼは、梅雨、そして暑い夏。(楠見邦博)

## 連絡帳

### ●バードソン1995準備進行中

先月号でお知らせした4名の、ワンサイクル済の多いメンバーによる埼玉県支部公式チームの名前は、「リフレッシュ彩のくに」。

チーム総合成績は、①確認種類数、②募金者数、③募金予定額の3点で決まります。海のない埼玉県ですし、県内すべてを飛び回る事もできないおじさん達グループなので、種類数は余り期待できませんが、②と③のほうを主眼に、楽しく総合入賞を目指します。

1週間前の10月1日(日)北本石戸宿定例探鳥会で出陣式、当日(8日)は渡良瀬遊水地をスタートして大麻生定例探鳥会に合流、最後は浦和市三室での特別探鳥会に参加の予定。タイムスケジュールは9月号で詳しくお知らせします。

当日までの支部行事にはメンバーが交代で参加して、募金活動を行います。おじさんチームですが、決してかみつきはしません。本当です。おじさん達うそつかない。怖がらずに応援をお願いします。(この項、高松広報担当の原稿を編集部で勝手に大幅書換え)

### ●住所変更などは、本部へご連絡を

埼玉県支部の会員は(ジュニア会員を除いて)すべて本部のコンピューターに登録されています。毎月の『しらこぼと』郵送ラベルも、本部のコンピューターで打ち出します。ですから、住所変更などの場合は、本部の会員室のほうにご連絡ください。本部から支部へは毎月連絡がありますので、普通は支部への届けは必要ありません。(ジュニア会員は、支部にだけ届けてください。)

なお、本部の電話番号変更後も、旧電話番号に電話がかかり、新しい電話所有者にご迷惑がかかっているとの事、どうかご注意をお願いします。

本部事務局 150 渋谷区南平台15-8

ウッディ南平台ビル2階

電話 代表 03-3463-8841

普及室・会員室 03-3463-8842

総務部・政策調査部 03-3463-8898

保護部 03-3463-8861

編集室・メディア室 03-3463-8860

研究センター 03-3463-8862

F A X 03-3463-8844

午前9:30～午後5:50 日・土・祭日定休

### ●会員の写真展

登坂久雄幹事がメンバーである「鳥写四人展(第6回)」が、今年も開催されます。

8月4日(金)～6日(日)10:00～17:00  
浅草公会堂展示ホール(03-3844-7491)無料

### ●8月の土曜日当番(2時～6時)

5日 中島康夫 楠見邦博(普及部会議)

12日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)

19日 新堂克浩 中村榮男(校正の日)

26日 袋づめの会(1時から)

### ●会員数は

7月3日現在 2,678人です。

## 活動報告

6月3日 普及部会議。

6月11日 役員会議(司会:榎本秀和、各部の報告・第6期評議員の推薦・全国密猟問題シンポジウムへの参加・総会準備・その他)。

6月17日 『しらこぼと』7月号校正(工藤洋三、和田康男)。

## 編集後記

6月中旬、オーストラリアの鳥見に行きました。6月末、支部総会が無事終わりました。

7月初め、富士山に行きました。7月中頃、虫歯が痛んで、顔が腫れました。もう編集会議の日です。忙しい人生です。(海老原)

ミニトマトの苗を2本庭に植えたのですが、雨続きと日照不足のせいか、細くて頼りないままです。編集会議の席でふと思いました。トマトに〇〇さんなんて名前をつけたら、太く育つかしら? (飛び入りの笠原伸子)

『しらこぼと』1995年8月号(第136号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町 107号 郵便振替 00190-3-121130  
印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)

再生紙使用